

CloudPrivacy ワーキンググループ設立について

2017年9月5日

諸角 昌宏

CloudPrivacy ワーキンググループ（CloudPrivacy WG）では、CSA ジャパンとして、クラウド環境におけるプライバシーの保護および取り扱いに対して、日本及びグローバルの観点から検討を行い、情報の公開を行っていく。

以下に、その概要および活動方針を示す。

1. 目的

CloudPrivacy WG は、クラウド環境におけるプライバシーおよび個人データの保護および取り扱いに関して、グローバル及び日本の視点でガイドラインを出していくことを目的とする。CSA 本部では、PLA(Privacy Level Agreement)を公開し、EU データ保護指令や一般データ保護規則（GDPR）に基づいて、クラウド上でプライバシー・データをどのように保護し取り扱うかに対するガイドラインを示している。また、日本においては、改正個人情報保護法が 2017 年 5 月 30 日に施行され、これに基づいて個人情報をクラウド上でどのように保護し取り扱うに関する指針が必要となっている。

このような状況において、CSA ジャパンとして、クラウド環境におけるプライバシーの保護および取り扱いに対して、日本及びグローバルの観点から検討を行い、情報の公開を行っていくことを目的とする。

2. 活動方針

CloudPrivacy WG の活動として、以下を進める：

- CSA 本部の「Privacy Level Agreement [V3]（2018 年 8 月公開予定）の翻訳および解説を作成・公開する。これにより、グローバルのプライバシーの動向、特に GDPR に関連するデータをクラウド上で扱う場合のガイドラインを日本向けに公開する。
- 日本の改正個人情報保護法に基づいて、クラウド上での個人情報の保護および扱いに対する検討を行い、ガイドラインを作成・公開する。
- 改正個人情報保護法に基づいたガイドラインをベースにして、CSA 本部の PLA WG と協調する。グローバルに通用する PLA（GDPR ベース、個人情報保護法ベース、その他の国の法律ベースを含む）の作成に向けたアプローチを行う。
- そのほか
 - クラウド環境におけるプライバシーの保護および取り扱いに対して、さまざまな国の観点から調査、検討を実施。
 - プライバシに関して、現場サイドで実務を行っている人からの情報の収集を

実施。

3. WG スタート時メンバー（敬称略）

- リーダー： 山崎英人
- メンバー： クラウドプライバシー研究会メンバー
- 事務局： 諸角昌宏

4. 活動期間

2017年9月～2018年5月31日

5. 活動にかかる費用

- 会議室費用（月2回を予定）： $2,000 \times 8 = 16,000$ 円

以上